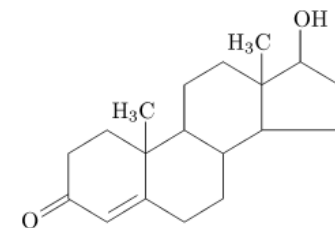
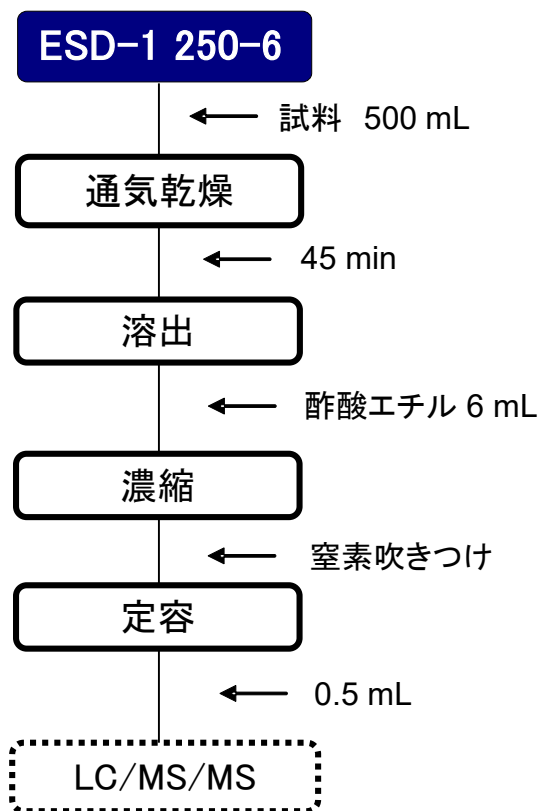


テストステロン(EDS-1)

1. Autoprep® EDS-1 250-6で濃縮を行うことで水質中のテストステロンをLC/MS/MSで分析することが可能
2. 河川水、海水等に応用可能

■プロトコル



毒性: 急性毒性TDL0:
 ラット100 mg/kg(経口)、
 マウス10 mg/kg(皮下注射)
 用途: 医薬品、医薬品中間体

分子量	融点(°C)	溶解度(mg/L)	LogPow
288.4	155	不溶	3.32

装置検出限界: 0.015 ng/mL
 検出下限: 0.079 ng/mL
 定量下限: 0.20 ng/mL

■添加回収試験結果

試料	試料量(mL)	添加量(ng)	検出濃度(ng/mL)	回収率(%)	サロゲート回収率(%)	変動係数(%)	繰り返しn
精製水	500	無添加	ND	-	-	-	1
	500	2.5	4.99	100	91	1.5	3
河川水	500	無添加	ND	-	-	-	1
	500	2.5	4.97	99	74	4.0	5
海水	500	無添加	ND	-	-	-	1
	500	2.5	4.99	100	65	6.8	3

■出典: 長谷川 瞳 等(名古屋市環境科学研究所)

「LC/MSによる化学物質分析法の基礎的研究(36)」(1)水質中のテストステロンの分析

第17回環境化学討論会 講演要旨集p640 2008年